

- 青森今別会30周年他… 1
- 卒業生の善意他…………… 2
- 特集地デジ放送開始  
おしらせ…………… 3
- 議会だより…………… 4~5
- イマダス・きりりこの人  
…………… 6

# 広報 いまべつ

発行/青森県今別町 編集/総務課企画担当 ☎0174(35)3012 FAX 0174(35)2298 今別町ホームページアドレス <http://www.imabetsunet.pref.aomori.jp>

## 青森今別会が

### 結成から30年

青森市に在住する今別町出身者の会、青森今別会(嶋中一会長)が、今年30周年を迎え、7月10日に小鹿町長はじめ長島町議会議長らが出席し、青森市の「ラ・プラス青い森」で盛大に記念式典が行われました。



青森今別会創立三十周年記念式典

昭和55年12月に結成された同会は、現在の会員数342名です。式典には来賓や会員など約50名が出席し、創立30周年を祝いました。

嶋中一会長は、「関係各位のご協力のもとつがなく会が存続し、30周年を迎えたことに感謝申し上げます。今後とも先輩が築き上げたこの会を可能な限り継続し、会の運営に努力して参りたい」と式辞を述べました。

今別町からは「大川平荒馬保存会」の皆さんと「つがる海峡ちやか親童・北天舞悠」のよさこいの皆さんが参加し、式典を盛り上げました。会員の方々も思わず荒馬の太鼓に誘われてねぶたを跳ずる場面もあり、和やかな雰囲気の中で、一層会員のきずなを深めました。

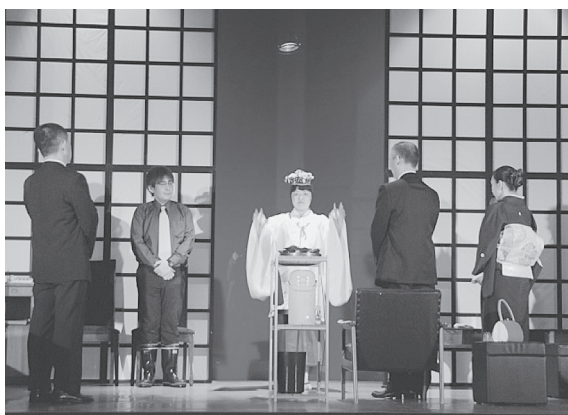


式辞を述べる嶋中会長



太鼓に合わせて踊り出す会員

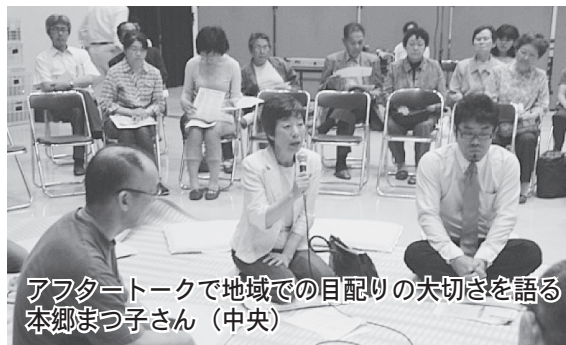
## お日様キャラバン ～生の愛しさについて考える～



演劇「お日様の匂い」で巫女さんが結婚式の手順を参列者に説明するシーン

青森県は全国的にみて自殺者が多い県です。そこで県では、自殺対策事業の一環として、平成21年度から3年間で県内40市町村において「お日様キャラバン」を開催します。このキャラバンは、演劇「お日様の匂い」の上演とアフタートークを行い、日常生活の何気ない会話や出来事から、県民一人ひとりが「生と死の重さや自殺問題について考える」きっかけになることを願って行っているものです。

7月9日に、お日様キャラバンが今別町開発センターで開催され、会場には関係者や町内外からの観客約80人が集い、弘前劇場の劇団員が演ずる「お日様の匂い」を観劇しました。上演された劇は結婚式が行われる神社での一コマです。新郎の同僚などが控室で繰り広げる会話を中心で、その中には死期を悟っている一人の男性がいるのでアフトートークには当町の保健協力員会長本郷まつ子



アフタートークで地域での目配りの大切さを語る本郷まつ子さん(中央)

さん(大川平)、今別町連合PTA会長太田和泉さん(今別)、町保健師の大水美保さんが加わり、地域での活動から「あいさつ運動」や「近所の見守り」の大切さを語りました。また、大水保健師は「うつ病」についての町民調査結果をスクリーンを使って詳しく説明しました。自殺やうつ病は「他人事」ではありません。自分の周りでも起こる出来事かもしれないということを参加者は痛感したことでしょう。

## “金子みすゞ展”を見学

読み聞かせの会「こまりの会」(澤田田鶴子会長)と町教育委員会が、このたび中央公民館で「金子みすゞ展」を開催し、26年間の短い生涯を紹介しました。金子みすゞは大正末期から昭和初期にかけて活躍した童謡詩人です。会場には、みすゞ直筆の原稿などを写したパネルも展示され、教科書に「みすゞ」の詩が載っているという今別小学校3年生や1・2年生も展示期間中に見学に訪れました。こまりの会メンバーの詩の朗読を聞いた後、児童も学校で覚えてきた「みすゞ」の詩を声を合わせて朗読し、「みすゞ」の世界にひたっていました。心優しい色白のふっくらした少女であったというみすゞさん。礼儀正しく笑顔の絶えない人であったというみすゞさん。子どもたちも詩を通して童謡詩人「金子みすゞ」の優しさを感じたことでしょう。



「教科書に載っている人だ」と興味津津

## 町内たんけん 楽しかったよ!



もずくうどんってこうして作るんだ



消防車に1度、乗ってみたいな~

6月19日、放課後子ども教室(こまりの会担当)では、みんなでおしゃべりしながら楽しく歩こうと「町内たんけん」に出かけました。おやつや飲み物、タオルなどをつめたりリュックサックを背負った子どもたち15名が集まってきました。中央公民館を出発し、最初は中央消防署今別分署の見学です。署員の説明に、男の子はあこがれの赤い消防車を目の前にし、首を突っ込みんばかりにのぞき込んでいました。今別八幡宮で休憩し、続いて村元神社の老木のサルノコシカケを見てみんなビックリ。「もずくうどん工場」でうどんづくりを見学し、1袋づつお土産をいただき子どもたちは大喜びです。その後、河川公園で昼食をとり中央公民館まで歌を歌いながら帰ってきました。参加した子どもたちは「みんなで公園でお弁当を食べたのが楽しかった」、「疲れないよ」と帰ってきてからも元気いっぱいでした。

# ふるさとを想い、母校を想う卒業生の温かい心が届きました！



贈られた図書を手にする図書委員

私は昭和42年3月に今別小学校を卒業した松本弘と申します。卒業してから幾星霜、もう40数年歳月が流れましたが卒業生として学び舎を忘れたことはありません。

昨年12月13日に忘年会を兼ねてクラス会を開催したところ、誰からともなく大それたことはできないが、わが母校に何かしてやりたいという話が舞い上がりました。みんな熟慮に熟慮を重ねた結果、図書がいいということに決まり、図書カードを寄贈することになった次第です。

(途中省略)

私たちはどんな図書がいいのか皆目わかりません。ご多忙のところお手数おかけしますが購入図書の見積りは校長先生、教職員の方々をお願いいたします。母校の益々の発展を祈念いたします。

(～原文のまま～)

「贈った卒業生は、たいした額ではないので何冊も買えないのでは」と話しては、児童の感想から、先輩の心が十分に伝わる温かい贈り物であったことは間違いありません。



いただいた図書券で購入した図書を整理する図書委員会の児童

田中富士子さん  
6年間母校へ寄付金を！

さいたま市在住の田中富士子さん(今別出身 旧姓石川さん)からは、「中学校の活動に使ってください」と、6年間続けて母校の今別中学校へ寄付金を寄せていただいています。本当にありがとうございます。

6年生の太田翔偉(かい)君は、「いただいた図書券で買った本は人気があって、一日に何十冊も借りるようになります。本当にありがとうございます。述べ、中島楓花(ふうか)さんは、「東京にいても今別小学校のことを思い出し、てくれて、とてもうれしかったです。いただいた図書は大事

6月中旬、昭和42年3月に今別小学校を卒業した松本弘さん(今別出身 横浜市在住)から心温まるお手紙と共に、図書カードが今別小学校森山和康校長の手に届きました。クラス会に出席し、図書カード寄贈に賛同した17名のお名前の一覧も同封されてきました。文面からは、ふるさとを想い、後輩たちを想う気持ちが伝わってきます。17名の中には今別小学校に統合された大川平小学校の卒業生も含まれています。

図書カード寄贈のきっかけとなったのは、昨年の夏、卒業生が母校の小学校を訪れた際、図書室の本が古く、傷んでいたことが気になり、クラス会でその話をしたところ図書カードを母校へ贈ろうということになったそうです。そして、できれば今回だけでなく、今後も続けて母校へ贈りたいと話し合われたそうです。

卒業生からの心温まる贈り物をいただいた今別小学校では、早速、図書を購入し図書委員会の児童が先輩からの贈りものを大切に扱おうと、真新しい図書を整理していました。

## 身障スポーツ大会で5連覇達成！



優勝カップを前に5連覇を喜ぶ今別町選手団

7月13日、平内町立体育館で東津軽郡身体障害者スポーツ大会が開催され、今別町が優勝し5連覇を果たしました。

8種目の競技のうち5種目で今別町は1位と大活躍し、優勝につながりました。参加した選手の方々は「目指すは10連覇」と気合いが入りました。

## 平成22年度今別町成人式開催のお知らせ

- ☆日時 平成22年8月15日(日)午前9時40分から
- ☆開催場所 今別町中央公民館
- ☆対象者 平成2年4月2日～平成3年4月1日生れ
- ※名前のもれている方がありましたら、町教育委員会(35-2157)へお知らせ下さい。
- |       |         |        |        |
|-------|---------|--------|--------|
| 《今別》  | 川浪 大樹   | 中村 義幸  | 藤田 恭平  |
|       | 平野 哲朗   | 宮越 翔平  | 阿部 周平  |
|       | 梅田 亨史   | 小鹿 裕樹  | 嶋中 智慧  |
|       | 三上 朝子   | 三國 千種  | 相内 梨絵  |
|       | 猪ノ口 めいこ | 嶋中 笑佳  | 小鹿 亜未  |
| 《浜名》  | 中嶋 絢子   | 東 亮汰   | 五十嵐 愛美 |
|       | 坂本 柊太   | 川村 悠梨子 |        |
| 《大川平》 | 小鹿 舞弥   | 田中 裕大  | 小鹿 慧美  |
|       | 平山 和樹   | 葛西 里奈  |        |
|       | 田中 志保   | 神 慎太郎  | 賀山 拓人  |
| 《二股》  | 上山 雅史   | 江島 沙由理 | 木村 千保  |
|       | 宮本 しおり  | 相内 翼   | 本郷 晃也  |
| 《村元》  | 中嶋 悠    | 川村 香子  |        |
|       | 宮本 拓馬   |        |        |
| 《鍋田》  | 相内 祥平   |        |        |
| 《山崎》  | 澤田 伸也   | 成田 星矢  | 太田 美紅  |
|       | 太田 友香   | 太田 麻里奈 |        |
| 《大泊》  | 吉田 幸憲   |        |        |
| 《巽月》  | 吉田 哲也   | 《砂ヶ森》  | 藤卷 岬   |
| 《奥平部》 | 最上 太貴   | 田中 寛子  |        |



## ゲートボールは今別町が優勝



この狙いで見事にゲートボールは今別町が優勝！



開会式での今別町選手団

6月25日、今別町山村広場において東津軽郡老人スポーツ大会及び東津軽郡老人ゲートボール大会が開催され、4町村から集まった約300人の参加者が熱く楽しい一日を過ごしました。

また、ゲートボール大会は、日頃の練習の成果とチームワークで見事に今別町が優勝しました。

【大会結果】

★スポーツ大会	★ゲートボール
1位 平内町	1位 今別町
2位 蓬田村	2位 外ヶ浜町
3位 外ヶ浜町	3位 蓬田村
4位 今別町	4位 平内町



子ども達に歌唱指導をする小鹿清正さん(右端)

今年荒馬まつりでは、「今別おけさ」を歌う子どもたちの姿が見られるかもしれませ

7月12日、放課後子ども教室の1年生12人は、荒馬っこ教室実行委員の小鹿清正さん(今別)から、「今別おけさ」の歌唱指導を受けました。

教室のスタッフから「今別おけさ」が出来たところのお話や、青函トンネルを盛り込んだ5番目の歌詞が追加になったことなどの説明を、子どもたちは興味深く聞いていました。

いよいよ歌唱指導です。小鹿さんが一小節を歌い、子どもたちがその後を歌います。すると教室中に元気な歌声が響き、後半にはおけさを踊り出す児童も続出し、とても楽しい教室となりました。

♪ 今別おけさ ♪  
うまく歌えたよ

# 地デジを見られるようにするには？

地デジ  
特集

## チェック1 まずは電波の状況を確認

今別町は地デジ中継局が整備され昨年12月25日から本放送が開始されていますが、お住まいの地区に地デジの電波が届いているか確認が必要です。デジサポ青森や電器店等へ問い合わせてください。


※ 袞月から綱不知までは現在、受信できない状況です。  
今年度中には受信できるよう整備の予定です。

## チェック2 UHFアンテナの設置

UHFアンテナについては、当町ではほとんどの家庭で設置されていると思いますが、調整や交換が必要な場合もあります。電器店等へお問い合わせし、確認しましょう。

## チェック3 地デジ対応のテレビの準備

いずれかの方法があります。

<b>デジタルテレビに 買い換える。</b>  価格：約3万円～ 大きさ：9型～ ●リモコンが簡単に 使いやすいタイプの ものがあります。	<b>今お使いのテレビに チューナーを買い足す。</b> ●今のテレビで 見られます。 画質は今の テレビのままです。 ●デジタルチューナー 価格：約5,000円～ ●またはデジタルチューナー 内蔵録画機器 価格：約4万円～
---	---

※ NHK受信料免除の方などへのチューナーの無償給付等の支援は、平成22年12月28日まで継続されます。まだ申請されていない方は、役場町民福祉課福祉担当（35-3004）へお問い合わせ下さい。

### 【地デジ相談会のお知らせ】

9月13日（月）午前10：00～午後4：00まで今別町中央公民館でデジサポ青森主催の「地デジ」の疑問にお答えする相談会を開催します。地デジ放送についての疑問や不安をお持ちの方は、お気軽に会場へおいでになり、この機会にいろいろお尋ね下さい。

《お問い合わせ先》 デジサポ青森 017-722-1831  
役場 総務課企画担当 35-3012

## 県境不法投棄現場県民見学会参加募集（青森弘前コース）

- 開催日 平成22年9月5日（日）
- 出発時刻・場所 9：15 県庁北棟正面玄関前
- 解散時刻・場所 17：30頃 同上
- 見学場所 県境不法投棄現場（田子町茂市川倉ノ上28）  
浸出水処理施設（田子町茂市川倉ノ上19）
- 移動手段 県が手配する専用バス
- 募集人員 40名（定員を超えた場合は抽選）
- 応募締切 平成22年8月20日（金）
- 申込・問合せ先 青森県環境生活部県境再生対策室  
TEL 017-734-9261

## 巨木やブナ・ヒバ等の情報提供のお願い

今別町管内の巨木やブナ、ヒバ等の遺存林のパンフレットを作成します。私たちの町の大きな財産のひとつは、山、川、海に囲まれた「景観」という資源です。全国第2位の樹齢という鍋田神社のセンノキも報道されましたが、それに劣らぬような巨木やブナ、ヒバ林も残されていることでしょう。

その他の植生や風景なども子どもたち、孫たちに伝え、観光客にも知らせ残して行きたいと思えます。

『ここにはこんなものがあるよ』と知っている方はお知らせください。

《連絡先》今別町緑化推進協議会

TEL 35-2203 (FAX兼用) (澤田瑞穂)  
35-3005 (役場産業建設課 産業担当)

## 日本年金機構からのお知らせ

国民年金では、障害年金を受給されるようになってからも、20歳以上60歳未満の方は国民年金に加入しなければなりません。保険料の納付については法律によって免除される制度があります（法定免除）。具体的には障害基礎年金を受けている方、障害厚生（共済）年金を受けている方で障害等級が1級または2級の方が対象となります。

また、生活保護法による生活扶助を受けている方も対象となります。

# 新しいテレビの時代がやってきます。 2011年7月24日には地デジ放送に！



アナログが初めから半世紀

初めて我が家にテレビが来た時のうれしさ。白黒からカラーになった時の驚きとうれしさ。みなさん思い出せますか？  
1953年（昭和28年）にテレビ放送が開始されましたが、高価なもので各家庭にはまだ普及していません。

そこで、テレビを購入した家に近所の人々が集まり、みんなで大相撲やプロレス、娯楽番組を見たと言われています。「快傑ハリマオ」、「少年ジェット」に夢中になった時代です。それから半世紀以上が経過し、今やほとんどの家に普及したと言っても過言ではないテレビ。技術の進歩により白黒テレビからカラーへ、そしてブラウン管から液晶へと飛躍的に進化しました。今ではテレビは私たちの生活に欠かせないメディアとなっています。

今やデジタル放送に変わる時代に

来年7月24日には、国内すべてのテレビが現在のアナログ放送から地上デジタル放送へ変わります。

### ポイントナウ

日本では携帯電話などの普及により、放送や通信などに使う電波が足りなくなっています。そこで、デジタル放送に変えると35%もの電波を節約できるのです。

### 節約した電波で

生活が便利で安全に！

- 節約した電波は、車同士の通信などに利用し、交通事故を減らします。
- 緊急災害時の通信を充実させ、被害を減らします。
- 携帯電話で動画など大容量のデータのやりとりもスムーズにできるようになります。

## 平成22年度海上保安大学校学生募集のお知らせ！

人事院及び海上保安庁では、平成23年4月に海上保安大学校に入学する学生を次のとおり募集します。

### ★受験資格

平成2年4月2日以降に生まれた者

### ★採用予定数 約45名

### ★申込受付期間

郵送 8月26日（木）～9月7日（火）9月7日消印有効  
インターネット 8月26日（木）9：00～  
9月1日（水）17：00

### ★第1次試験日 10月30日（土）、10月31日（日）

合格発表 12月10日（金）

### ★第1次試験地 塩釜市・青森市・秋田市・盛岡市

### ★第2次試験日 12月17日（金）

### ★第2次試験地 塩釜市（海上保安学校航空課程は東京都）

### ★最終合格発表 平成23年1月20日（木）

なお、詳しくは下記へお問い合わせください。

青森海上保安部管理課 TEL 017-734-2423

## 個人事業税の納付について

個人事業税は、一定の事業を行う個人に対し、原則として前年の所得をもとに課税される県の税金です。8月と11月の2期に分けて納税通知書を送付しますので、納期内に納税してください。

なお、県では、個人事業税の口座振替を行っています。

納税者本人の通帳と預金届出印を持参のうえ、取扱金融機関、地域県民局県税部にお申し込みください。

《お問い合わせ先》 東青地域県民局県税部 課税第一課  
TEL 017-734-9972

# 議会だより

発行/東津軽郡今別町議会  
編集/議会広報委員会

No.164

## 光ファイバー敷設工事の請負契約可決

平成22年6月2日、第387回臨時会が招集され、議案7件を原案どおり承認・可決し閉会しました。

### ◆ 条例関係 ◆

○今別町条例の一部改正  
地方税法の改正によるもの。

### ◆ 予算関係 ◆

○一般会計及び特別会計補正予算  
平成21年度一般会計及び特別会計補正予算の専決4件について承認されました。

### ◆ その他 ◆

○平成21年度一般会計繰越明許費繰越計算書(報告)  
年度内完成が見込めない事業の繰越。  
・地域情報通信基盤整備推進事業  
・道路補修工事  
○地域情報通信基盤整備の工事請負契約について  
東日本電信電話株式会社 青森支店との工事請負契約の締結を可決。  
契約金額は、1億2千41万4千円。

## 平成21年度補正予算(3月31日専決)

単位:千円

会計名	補正額	補正後の額	補正の主なもの
一般会計	86,399	2,897,401	地方交付税 89,772
国保(事業勘定)	1,779	619,390	保険税 1,773
国保(診療施設勘定)	1,978	249,055	後期高齢者医療診療報酬 1,258
介護(保険事業勘定)	増減なし	373,319	一般管理費と認定調査費の手数料で調整

## 第388回定例会

第388回定例会が平成22年6月18日招集され、23日までの6日間の会期で開催されました。

提案された議案は、条例案3件、平成22年度補正予算案4件、その他1件のあわせて8議案で、いずれも原案どおり可決されました。

## 平成22年度補正予算の概要

単位:千円

会計名	補正額	補正後の額	補正の主なもの
一般会計	12,409	2,194,014	財政調整基金繰入金 5,000 東北新幹線助成金 4,725
国保(事業勘定)	△30	618,044	職員給与費繰入金 △30
国保(診療施設勘定)	増減なし	147,227	職員手当の異動調整
簡易水道事業	増減なし	128,853	施設管理費と予備費で調整

### ◆ 条例関係 ◆

○今別町職員の給与に関する条例の一部改正  
職員の給与から控除することができなくなるものを規定するためのもの。

○今別町過疎地域における固定資産税の特別措置に関する条例の一部改正  
過疎地域自立促進特別措置法の改正によるもの。

○今別町国民健康保険条例の一部改正  
地方税法の改正によるもの。

### ◆ 予算関係 ◆

○平成22年度一般会計及び特別会計補正予算について可決されました。

### ◆ その他 ◆

○青森県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体数の減少及び青森県市町村総合事務組合規約の変更  
構成団体の解散による減少に伴い、関係する地方公共団体と協議するためのもの。



## 一 般

### 富士直治議員

#### ○今別町奨学金制度について

**質問** 奨学金を希望する学生の人員増や、募集期間の時期の変更、収入限度の緩和、償還方法等の改善はできないか。  
**教育課長** 過去5年間の奨学金の申請が、高校、大学とも5名を超えることがないので、平成20年度から募集人員枠を各10名から5名に変更し、今後も各5名での募集を予定しています。  
また、奨学生の募集は町広報やホームページに掲載し、奨学生の採用を決定しています。応募がこれまでも募集枠内でもあり、奨学金に関する相談は随時行っているのご相談下さい。  
収入限度額の緩和については、これまで申請者に対する不採用の実績はなく、基準は妥当なものと考えています。  
次に償還方法は、町の指定金融機関のみで不便を感じているのが事実でありますが、償還の方法として指定金融機関の青森銀行、収納代理店の青森農協今別支店にお願いしていますが、特に事情があつて町内の金融機関で不便な方は、ゆうちょ銀行も可能としていますので、ご相談下さい。

#### ○新幹線対策について

**質問** 具体的な取り組みと成果が出ているものはあるのか、また今年開業する地域との意見交換や交流はあるのか。  
**総務課長** 今年度、東北新幹線開業開

### ◆ 陳情・請願 ◆

○備蓄米買い入れと米価の回復・安定を求める陳情 (採 択)

○「後期高齢者医療制度のすみやかな廃止を求める意見書」の提出を求める陳情書 (継続審議)

○アメリカ産牛肉の輸入条件撤廃・緩和に反対する陳情 (採 択)

○りんご果汁・りんご加工品の原料原地表示の義務づけを求める陳情 (採 択)

## 質 問

連事業補助を活用したPR用看板の製作を計画しているほか、ポスターやイベント用の「のぼり」の製作を計画しています。北海道新幹線関連工事が一部を除き認可されたことから、新駅のデザインについて協議を開始したところです。今年度末までに基本方針を定めたいと考えています。

本年12月4日に開業を迎える東北新幹線関係駅及び5年後の開業を目指した北海道新幹線関係市町には、これまで視察研修を実施した上、新幹線の活用に関する意見交換などを実施しています。

これらの意見交換を踏まえ、有効活用の実現性を考慮した内容で検討しているところですが、今後、新駅舎の開業までの期間及びそれ以降に、その成果が評価されるものと考えていますのでご理解いただきたいと思います。

#### ○広域消防について

**質問** 広域消防事務組合の案件は当町には大きな問題です。今年、他市町村と話し合いをし、一定の成果があつたと聞いていますが、その内容と方向性を説明していただきたい。

**答** 町としては、これまで今別分署と外ヶ浜分署の消防部門を統合し職員数を減らして、分署経費の90%以上を占める人件費を抑制しながら経費の削減を提案してきましたが、外ヶ浜町では消防部門の統合は距離的なこともあり、三厩地区住民との話し合いはできないので、これまでの6対4の負担割合を5対5で、と

の提案をしてきています。分署運営は22名でも可能という消防本部の見解もありますので、これらをシュミレーションし秋頃までには結論を得たいと考えています。

### ○鳥獣被害対策は

**質問** 春先から民家近くの道路沿いでも未だ多くの猿が見られ、納屋等家屋への侵入や、田畑は今、多くの種苗を植える時期なので、いたずらや食害が心配です。継続的な対策はしていると思います。が、これからの対策を聞かせていただきたい。

**産業建設課長** 本町での猿の被害は平成16年頃から多発してきています。住民からの有害鳥獣、特に猿の被害報告が多く、今別地区猟友会への捕獲等の許可依頼も増え、負担も増加しているのが現状です。

町では、平成21年度に今別町鳥獣被害防止計画を策定し、本年度の5月26日には有害鳥獣の被害防止対策を効率的に実施することを目的に「今別町有害鳥獣被害防止対策協議会」を立ち上げました。町としては、今別地区猟友会による捕獲作戦が一番と考えています。

## 富士 和比古 議員

### ○今後の町の見通しについて

**質問** (1) 財政について(一般会計について)

一般会計の今後の見通しについて伺いたい。

**総務課長** 平成21年度の一般会計の決算見込みは、1億3千6百万円程度の黒字を見込んでいます。本年度は、歳入において繰越金が3千8百万円ほど増額補正の見込みです。

歳出については、義務的経費である人件費と公債費で歳出予算全体の41%を占めています。予算規模は8億8千万円です。

本年度の見通しは9月頃に、幾分数字でお答えできると思います。来年度以降については過疎計画及び町総合計画との整合性を図り、単年度収支

の黒字化が継続できるよう取り組んで参りますので、ご理解とご協力をお願いします。

**質問** (2) 特別会計等について

特別会計の見通しについて伺いたい。あわせて連結決算についても、その状況を伺いたい。また、他町村では、少子高齢化対策の予算案が計上されているが、我が町でも少子化対策の一環として、小中学生の医療費の無料化、出産の手当を多くするなどの検討がされているのか伺いたい。

**総務課長** 連結決算ですが、特別会計は7本あります。この中では水道会計が3千8百万ほど赤字となつていますが、合計した連結の決算額が1億5千6百万ほどの黒字になります。健全化判断基準の連結実質赤字比率はプラスの7.39%になります。一定の判断基準があります。それよりは良い状況となっております。

**町民福祉課長** 今別診療所は、昭和49年に開設しましたが赤字経営が続き、極力節約に努めてきましたが、赤字解消がなされず一般会計からの繰入金を継続的に行つています。

平成21年度は歳入2億7千2万9千円、歳出2億3千69万8千円で差引き3億33万1千円の黒字となる見込みです。これも一般会計、国保会計からの繰入金6千4百10万円を繰入したため黒字となったものです。

診療所は地域になくはならない医療機関であります。経営が依然厳しい状況にあり今後も一般会計からの繰入を継続しながら、診療所経営の健全化を図っていきます。

また、今後の最重要課題である医師確保についても、県・国保連合会と連携をとりながら医師確保に努めるとともに、安心して暮らせる町づくりを目指していきたいと思つています。

**包括支援センター所長** 累積赤字を解消するため、一般会計からの繰入れをし、町で運営していた「なかやま荘」「ひより」の赤字を解消することに努力してきました。更に財政の健全化を図るため、老人福祉施設の民営化をしました。それにより20年度においては、単年度収支で3億49万5千円の黒字となりました。

さらに、21年度の決算見込みにおいても、「ひより」建設の際の公債費の償還

が終了したことなどから、単年度収支で3億71万8千円の黒字となる見込みです。

22年度以降も介護サービスの充実と財政の健全化に努めていきたいと考えています。

**産業建設課長** 水道事業特別会計については、平成19年7月に水道料金の値上げをしましたが、人口減少等により使用水量が伸びず、年々料金収入が減少し、収入より経費が上回り累積赤字が増加している状況です。

累積赤字を解消するため、平成21年度までに一般会計から2億2千7百15万9千円を繰入れし、21年度末の累積赤字が3千8百40万8千円まで減少しました。今後の見通しは、平成22年度以降も一般会計からの繰入金が必要ですが、

さらに、平成27年度開業予定の北海道新幹線「仮称・奥津軽駅」への水道管敷設事業や、各浄水場施設の老朽化に伴う水道施設整備計画を早急に進めなければならぬと考えています。

**町長** 小中学生の医療費の無料化については、昨年の9月議会でも質問されているところです。

当町でも検討したところですが、財政的に今別町では無理があるということで猶予した経緯があります。

医療費の無料化だけで子どもが増えるとは考えられませんが、若い人や夫婦が増えることが一番だと思つていて、考えていかなければならないと思つています。

### ○温泉計画の進捗状況は

**質問** 温泉の発掘については町民も大変期待している。現在の状況を伺いたい。

**副町長** これにつきましては、先の行政説明会において説明していますが、現在、大館市のボーリング会社と掘削調査のための情報を集めています。今後さらに情報を集めて、町民が期待する温泉掘削が出来ればと願っています。

掘削箇所の調査として、3ヶ所程度を考えています。

### ○生活排水の悪臭について

**質問** (1) 水の流れていない側溝

田んぼに水を引く用水を一部側溝に流しているが、定期的にその水の全部を田んぼに流しているため、側溝に流れず生

活排水が臭っていることが確認されたので、その改善策を伺いたい。

**産業建設課長** 現在整備中の融雪溝と、さく井工事で地下水を利用して夏場の生活排水の悪臭対策と、冬場の融雪対策に対処してきました。

今後、新設が予定されていない側溝等については、水源確保と流入方法を考えながら用水等を利用し、水の流れる側溝にしていきたいと考えています。

## 視察研修レポート

去る7月2日に、長野県木祖村を訪れました。

少子高齢化が進む中で、何とか人口の減少に歯止めをかけ、若い人が住みついてくれる「町づくり」を目指していきたいと思つている状況を確認しました。

木祖村は人口3,297人、予算規模24億19百万円(20年度決算)と、当町と、さほど変わりなく「やぶらは高原スキー場」や夏のキャンプ場などの観光を主とした村でした。

今回の研修テーマの「子どもの医療費無料化」については、今年度から対象を高校生までに拡大するというところから、村の予算額を聞いたところ、0歳〜6歳は2百50万2千円、7歳〜15歳は2百54万2千円、16歳〜18歳は百52万6千円と、全体で6百57万5千円ということになります(人数は474人)

産業面においては「御嶽はくさい」が、夏場に品質の高いものが出荷されることから、市場では一流ブランド品として扱われています。これは栽培している地域の標高が高く冷涼な気候であることと、生産者の長年の努力が「ブランド化」したものであるということです。

今回の研修では、木祖村の村長はじめ、村議会議員や職員の方々から丁寧な説明をしていただき、私たちの今後の「町づくり」に少しでも役立てたいと考えているところであり、意義ある研修であったことを報告いたします。

総務文教常任委員長

明 田 平 苗

産業建設常任委員長

中 島 邦 彦



「御嶽はくさい」の栽培状況



説明を受ける各議員

## 編集後記

木祖村は、今別に似て高原野菜の栽培に取り組んでおり大きな成果を出しています。

今別でもブランド野菜の栽培に取り組んで、木祖村に負けないよう頑張っていきたいと思つていました。

議会広報副委員長

福 士 直 治

# イマダス

## まちの行事予定 (8/1~9/10)

※行事予定名・開催場所・担当を掲載しています。

8/2 (月)	・介護保険料第1期納期限 ・国民健康保険税第1期納期限 ・町民ふれあい文庫オープン	福祉 税務 教育
3 (火)	・特定健診《開発センター》	福祉
4 (水)	・荒馬まつり(7日まで)《さざなみ公園・町内》	観光協
10 (火)	・予防接種(二種混合)《今別診療所13:00~》	福祉
12 (木)	・特定健診《大川平文化会館》	福祉
15 (日)	・今別町成人式《今別町中央公民館》	教育
18 (水)	・特定健診《奥平部集会所》	福祉
24 (火)	・今別小、中学校始業式 ・予防接種(ポリオ)《今別診療所13:00~》	教育 福祉
25 (水)	・乳幼児健診・フッ素歯面塗布	福祉
30 (月)	・芸術鑑賞教室 ・町、県民税第2期納期限	教育 総務
31 (火)	・後期高齢者医療保険料第2期納期限 ・東郡中学校英語弁論大会《蓬田中》	町民 教育
9/1 (水)	・特定検診《多目的集会所》	福祉
2 (木)	・今別小・知内小交流学習《知内町》	教育
3 (金)	・献血	福祉
5 (日)	・第18回青森県民駅伝競走大会	教育

### 善意をありがとうございます!

このたび、今別町中央公民館「図書コーナー」に石岡多江子さん(村元)、小倉稲子さん(髪月)、中島妙子さん(山崎)からたくさんの本が寄贈されました。ありがとうございます。

### 航空防除についてのお知らせ

散布地域 水田地帯  
散布予定日 8月2日、9日、19日の3回  
散布予定時間 開始 5:00~ 終了 10:00  
※ 天候不順により散布日、時間が変更されることがあります。詳しくは広報無線等でお知らせします。  
《お問い合わせ》役場産業建設課 産業担当 35-3005

### 戸籍の窓口 (6月1日から31日までの届出分)

#### お悔やみ申し上げます

野土谷 き 糸 (94) 大川平  
中 嶋 紘 悦 (69) 今 別

掲載を希望されない方は、届出の時に 町民福祉課町民担当へ申し出下さい。また、東奥日報・東奥ウェブについても同様申し出下さい。

#### 今別の姿

(平成22年6月30日現在)  
面積 125.28km<sup>2</sup>  
人口 3,478人(-7)  
男 1,631人(-6)  
女 1,847人(-1)  
世帯数 1,579 (-2)  
( )内は前月比

### 編集後記

テレビ放送が昭和28年に開始されました。当時、冷蔵庫・洗濯機と並んで「3種の神器」と言われたテレビは、庶民には高値の花だったようです。近所では早くテレビを購入した家に集まり、大勢でテレビを見た光景は目に浮かびます。私も家に初めて「テレビ」がやってきたときの感動を味わった年代です。

今は電波が足りなくなるだけ情報通信網が発達し、いよいよ地デジ放送に完全移行する日も1年を切りました。テレビのない生活は考えられない時代です。来年7月24日以降、テレビが映らないというこのないよう、地デジ放送を見るための準備をしましょう。(広報担当 木津歌子)

## 町の元気な子ども達

「今別小学校6年生」  
①氏名 ②地区名 ③将来の夢



①太田 悠也くん

### ②山崎 悠也くん

③動物の研究者  
6年生でがんばりたいことは、算数と社会です。算数は難しい問題がたくさん出てきていくので、覚える式や言葉などが多いため、がんばりたいです。社会では、歴史が入ってきてきて覚えていけなくて、がんばりたいです。



①小山 優花さん

### ②鍋田 優花さん

③看護師  
最高学年の6年生になったので、今別小学校のみんなを引っ張っていき、今までよりもいい学校を目指してがんばりたいと思います。

## 山田 清孝 さん

(奥平部 58歳)



観閲式で操法演習を行った団員の最年長者

6月13日、今別町消防団定期観閲式では、各分団による小型動力ポンプ操法が披露されました。  
4人1組で、指揮者、1、2、3、のゼッケンを付けたメンバーがそれぞれの任務にあたります。今年も、どの分団もきびきびと動き、練習の成果とチームワークの良さが目立ちました。各分団とも現在は団員数が減少し、操法を行う人も以前のように若い人がいないため、自然と40代、50代の方々になっていくようです。そんな中で、第12分団の3番を付け

## きらりこの人 ⑤

た山田清孝さんは、操法を行った団員では58歳と最年長でした。清孝さんは一時、消防団を退団しましたが、平成18年に再入団。分団も6年ぶりに操法を行うことになり、仲間にも勧められ3番の任務を果たすことになりました。ところが練習では、手足の動きが思うようにいかず、本番でも若い人たちの足をひっぱるのではないかと気が気ではなかったそうです。仲間もそれぞれに仕事を終えた後の午後6時から1時間くらい操法の練習に励みました。1週間びっしりと1日に3回操法の練習を繰り返しました。3番は機械係で比較的動きの少ないものの、本番は緊張したと言います。しかし、チームの皆と一緒にみごとな操法を見せられました。他の分団でも50歳代の指揮者や1番を付けて走りまわった方もいて、若い人には負けられないと、まだまだ元気なところを見せられました。清孝さんに趣味を尋ねると「船釣り」のことでした。これまでにブリやヒラメを釣った話をしてくれました。でもそれは稀でいつもは安い魚ばかり釣っていると笑っていました。平成17年に上磯生コンを退職してからは漁師をしています。漁の話になると顔が曇りました。



操法を行った分団の仲間たちと山田清孝さん(右から2人目)

今年もヤリイカもこうなご漁も不振に終わったようです。期待したウニ漁も思ったようにはいかなかったと肩を落としました。今後のコンブ漁に期待したいところだと話したときだけ、日に焼けた顔がほころびました。今後も漁師を続け、仲間と共に消防団活動に励む、たのしい清孝さんの姿を見ることができるといいでしょう。

# 「しめたっけ 不安なときは すぐ確認」